

事業計画書

事業名	ガイド力のレベルUP、情報発信力UP、 市民向けのガイド、ウォークの積極実施（高齢者・小中学校生）
場所	沼津市 各所
実施予定期間	平成29年7月1日 ～ 平成30年3月31日
日程	実施項目・作業項目
	<p>①ガイド力のレベルUP（聞き易く、解り易いガイド）</p> <ul style="list-style-type: none"> ◆携帯マイク付スピーカーの導入 <u>7月導入予定</u> 7セット ◆ガイドの知識向上、ガイド技術向上、スキルUPの為の勉強会 （<u>月一回 定例会開催時に実施</u>） 旧国鉄沼津機関区。 沼津港大型展望水門“びゅうお”（外部講師） 外国語（英語）での“びゅうお”の窓口対応、施設案内についての勉強会 班別研修（他地区を訪れて、他地域の観光ボランティアの対応を勉強する） ◆説明資料の充実 英語版お客様ガイド資料の作成（御用邸案内） <u>9月作成予定</u> <u>9月作成 100冊（20頁）</u> <p>②ぬまづ観光ボランティアガイドのホームページでの情報発信力の強化</p> <ul style="list-style-type: none"> ◆ボランティアガイドの活動内容、企画イベント情報の発信（<u>英語対応可</u>） ◆沼津の見どころ、歴史、特産品等の紹介、観光についての情報発信する。 <p>③沼津市の各種施策との連携、協力し、ガイド活動を活発に行う。</p> <ul style="list-style-type: none"> ◆高齢者向けの健康維持促進の為のウォーク中心のガイド <u>長寿福祉課企画ガイド付きウォーキングへの協力（8コース）</u> <u>生涯学習課（万年青大学） 潮の音コース、街中コース</u> ◆小中学校生向けの、防災、歴史、産業等の案内を通して、沼津の良さをガイドする。（ガイド依頼時点で、学校と事前に、依頼内容、ガイド内容の打合せを行い、ガイドを効果的に実施する） 市内外の小中学校よりの依頼 （びゅうお、沼津漁港セリ市の案内） <u>40校 1,500名（29年度実施の目標案内数）</u> ◆外国人向けガイドの対処方法の検討を始める（御用邸、びゅうお、千本浜） ◆参加者に、カンバッチを配布、装着してもらい、参加者を把握しやすくすることで、安全確保しやすくする。 <u>カンバッチ製作 7月 6種類 各100個</u>
事業効果	<p>自主企画イベントの開催、市役所各担当課との連携、協働でのイベント実施に協力することで、市内各地域で、ガイド付きウォークの開催を増やす事で、多くの市民からの参加者数を増やし、参加者の健康促進、仲間づくりに役立ち、歩く事、聞く事で、沼津の良さ、素晴らしさの再発見の場づくりができる。</p> <p>小中学校生向けガイド案内を通じ、沼津の事、歴史を案内し、防災の話をする事で、沼津の良さ、素晴らしさを感じてもらえる機会を創る事ができる。</p> <p>びゅうお、御用邸には、外国人の来所が多くなって来る。外国人向けのガイド、案内対応の為、ガイド資料の整備、会話対応の準備を進める事で、外国人観光客の誘致ができる。</p>

<p>公益性</p>	<p>ガイド案内の質（ガイド内容、聞き易さ、解りやすさ）を高める事で、沼津の良さを感じてもらおう。もっと知ってもらおう事に繋げ、沼津のイメージ向上を計る。 市役所各担当課との連携、協働を強め、市企画の高齢者向け行事、独自企画のウォークイベントを、多く開催し、参加者を増加させる事が、ウォーク＝健康促進仲間作り、ガイド＝沼津の事を多く知ってもらおう事に繋がり、沼津の良さ、素晴らしさの再認識してもらえらる機会を創れる。 多くの人参加するガイド付きウォークイベントを、市内各地で開催する事が多くの人参加する市内各地域を歩く事で、色々な事を見る事、発見に繋がり、市内各地域の賑わいつくりの一助に繋がると考えます。</p>
<p>発展性</p>	<p>御用邸、びゅうおが、観光目的の方へのガイド活動の原点であり、これからの活動の中心です。一方、沼津には、市街地、沼津駅付近、香貫山、その他に、歴史的、文化的価値の高い箇所が多くあります。現在行っている御用邸、びゅうおのガイドから、他の価値ある箇所へのガイド機会を創る事で、観光客の市街地、街中への誘導する事、観光客の流れの市街地、街中への流動化を目指す。市内在住のイベント参加者にとっても、新しい発見に繋がり、新しい発見のときを創れる。ガイドの会に対する認知度、評価が高まる事で、会活動の活性化、ガイド会員数の増加、会の発展に繋がる一歩となる。</p>
<p>地域性</p>	<p>市行政、観光協会、商工会等との連携で、イベント活動を活性化し、今以上に実施回数、参加者を増やす、その内容を参加者に、もっと楽しんでもらえる企画を立案、実施する事が必須となる。市内の多くの地域での地元の人々との連携した、ガイド付きウォークの開拓していきたい。</p>
<p>必要性</p>	<p>従来のボランティアガイドの活動は、歴史的、文化的な施設の説明が主であった。その活動は、これからも大切であり、ガイドの原点と考えます。継続して、その中身を充実指せていく事、ガイド方法のレベルUPが大切と思います。 これからは、市内各地域の地元との繋がりを大切に、その地域の人と一緒に、そこに根付いた文化、歴史を考えながら、見たり、聞いたりして歩く事ができる企画を開拓していきたい。</p>
<p>先導性</p>	<p>外国人観光客は、増加してきております。びゅうおでの窓口対応、施設案内の対応できる様、勉強会を継続的の開催し、対応力の強化しています。御用邸においても外国人向け（当初は英語）での案内資料を作り、外国人向けにガイド活動のできる体制作りをしていきたい。（行政との連携が必要） 現在のガイド活動場所、イベント開催場所は、ごく一部の場所での実施であります。しかし、市内各地域には、あまり知られていない、文化的歴史的価値の高い施設が多くあると思います。それを、地域の自治会、学校、市行政と連携し、その掘起し、PRを行っていく事が大切と考えます。</p>
<p>継続性</p>	<p>ぬまづ観光ボランティアガイドは、今年が創立15年になります。会として20年30年と、将来に向かって継続して発展する事が大切であります。そのために必要な事は、その活動が、沼津市、そして市民に、認知され評価される事です。会として活動する為には、運営資金の確保と、組織する会員の活動量、力の確保。若さを保ち、活力ある会組織を維持し拡大する事です。 運営資金の確保（検討課題） 参加者ニーズにあったイベント企画の実施と、参加者の評価される企画の実施。 参加者の安定しての集客 イベント参加者より、参加者徴収（資料代として）する 自主企画イベントを、団体の協賛等にて開催し、協力金として運営資金の確保 活力ある会組織の維持、拡大 市、各団体との、連携、協働してのガイド活動、各種イベント等の活動のレベル向上で、ガイド活動の内容について、市、各団体、沼津市民から、活動を認知、評価されていけば、会活動も活性化され、新しいガイド会員の増加が見込まれ、今まで以上のガイドの活動量の確保が可能と思う。</p>